

人事院会議議事録

会議日

令和7年8月8日金曜日

会議の出席者

川本総裁 伊藤人事官 土生人事官
(幹事) 佐々木事務総長、堀内総括審議官
(説明員) (官房部局)
長谷川審議官、
柳田総務課長、野口人事課長、奈良間会計課長

議題

令和8年度人事院の予算概算要求及び組織定員要求

議事の概要

- 議題「令和8年度人事院の予算概算要求及び組織定員要求」について、担当局から別添のとおり説明があった。
- これに対し、以下のような意見があった。
 - ・ 人事院の施策として実施していくべき事業について積極的に要求を行っており、予算概算要求及び組織定員要求として良い内容になっている。(伊藤人事官)
 - ・ 人事院勧告及び公務員人事管理に関する報告を踏まえた、様々な課題に対応していくために必要な要求内容になっている。財政当局にしっかりと要求内容を理解してもらえるよう努めてほしい。(土生人事官)
 - ・ 人事院勧告及び公務員人事管理に関する報告を踏まえて要求を行うという流れが定着したと感じる。院を挙げて施策の推進に取り組んでほしい。(川本総裁)
- 議題については、三人事官一致で了承された。

令和8年度

人事院予算概算要求及び組織定員要求について (案)

官房部局
令和7年8月8日

01 令和8年度予算概算要求の基本方針

人事院が直面する諸課題等を解決するため、以下の方針を基本に要求し、施策の遂行のために必要となる予算の確保を目指す。

1

既存事業についてより効果的なものとなるよう見直しを行いつつ、「公務員人事管理に関する報告」及び人事行政諮問会議最終提言に関連する新規施策について、政府の重要政策推進枠を活用し積極的に要求する。

2

新たな課題に対応すべき必要な組織・定員要求を反映するとともに、働き方改革を飛躍させる新庁舎の維持管理、老朽化した施設の更新など着実な事業実施の基盤整備に必要な予算を確保する。

3

政府の概算要求基準を踏まえつつ、戦略的な要求内容となるよう検討を行い、官房部局は各局の積極的な要求を支援する。

02 令和8年度予算概算要求概要

- ・要求総額は、対前年度△12.5%、約13億6千5百万円の減額要求であるが、庁舎移転に要する経費(約23億円)の減額によるものであり、同経費など庁舎移転関連経費を除いた場合、**対前年度+9.0%、約7億7千3百万円の増額要求**となっている。
- ・義務的経費は、庁舎移転に要する経費が減額となったが、人件費の増により増額(約4.3億円)となっている。
- ・裁量的経費は、要求限度額近くまで要求しており、**対前年度+19.4%の増額要求**となっている。

	R7予算額(百万円)	R8要求額(百万円)	対前年度額(百万円)	対前年度比(%)
人事院予算額	10,896	9,531	-1,365	-12.5
┌ 庁舎移転関連経費を除く	8,560	9,333	+773	+9.0
義務的経費	9,116	7,207	-1,909	-20.9
┌ 庁舎移転関連経費を除く	6,780	7,207	+427	+6.3
裁量的経費※1	1,780	2,126	+346	+19.4

※1 R8は庁舎維持管理経費(増嵩分)1億9千8百万円を除く。同経費を含む裁量的経費の要求額は、23億2千4百万円(対前年比+30.6%)となる。

※2 別途、デジタル庁から要求する、政府情報システムの要求総額は、3億7千万円(対前年度+17.0%)となる。

03 令和8年度組織定員要求の基本方針

定員合理化について

- ▶ 総定員法の対象となっている国の行政機関の動向を踏まえ、人事院においても、**令和7年度以降の5年間で**、令和6年度末定員の約5%に相当する**31人を合理化の目標数**としている
- ▶ 令和8年度は、**8人**の定員合理化を行うこととする

組織定員要求方針

- ▶ **人事行政諮問会議最終提言**の実現を始め、公務員人事管理に関する重要施策の更なる推進に向けた取組を進めるため、必要な組織・定員を確保
- ▶ **部局横断的な課題に戦略的かつ機動的に対応していくため**、令和6年度要求から行ってきた官房機能の強化として、官房部局の司令塔機能を確立する等の重点的な組織・定員を要求
- ▶ 令和8年度は、**新規増員16官職**（うち時限5官職、★別枠2官職）、振替23官職とする
（★別枠：業務効率化に資するDXに係るもの）
（※定年引上げに伴う特例定員5官職（全て行(一)1級で1年限りの時限）を除く）

04 令和8年度予算・組織定員要求の主な内容（1／6）

1. 高い使命感とやりがいを持って働ける魅力あふれる公務

■ 「選ばれる」公務職場の実現～公務のブランディング～

- ・ 国家公務員という仕事のブランディングを人材確保の観点から戦略的に行うため「公務のブランディング」を推進
- ・ 予算については、国家公務員志望者拡大に向けた公務の戦略的なブランディングを要求
- ・ 定員については、公務のブランディングを人材確保事業に導入するための体制を要求

予算 29,645千円

定員 人材局 企画課 人材確保対策室 ブランディング戦略推進官 5級

■ 職場の魅力向上・発信に向けた取組

予算 33,000千円

■ 国家公務員を対象とした意識調査、新時代の人事行政課題への対応に関する諸外国調査・研究等

予算 10,652千円

2. 採用年次にとらわれない実力本位で挑戦できる公務

■ 職務に応じた報酬水準の在り方等に係る調査研究

予算 41,635千円

04 令和8年度予算・組織定員要求の主な内容（2／6）

3. 働きやすさと成長が両立し、自分らしく挑戦できる公務（1／3）

■ 超過勤務の縮減

- ・各府省の個々の職場の実情に応じた実効的な超過勤務縮減策を示し、その着実な実施を伴走支援するための体制を要求

定員

職員福祉局 職員福祉課

勤務時間調査・指導室 勤務環境改善支援推進官 5級（課長補佐）・3級（係長）

■ 時代に即した働き方の推進等

- ・各地域における賃金水準の変動の適時適切な反映、地域手当の支給割合の差の在り方の研究等を行うための体制を要求

定員

給与局 給与第三課 地域手当調整室 地域手当研究官 5級（※時限）

■ 職員のWell-beingの土台づくりのための取組

- ・職員の健康増進に向けた健康管理、近年民間企業などで取組が強化されているカスタマー・ハラスメントへの対策を整備
- ・予算については、健康管理体制の整備、ハラスメント対策強化に向けた研究及び周知啓発を要求
- ・定員については、健康安全対策推進室業務の体制強化を要求

予算

健康管理体制の整備 25,003千円

予算

ハラスメント対策強化 24,134千円

定員

職員福祉局 参事官 8級（振替）

職員福祉局 職員福祉課 健康安全対策推進室 企画班 主査 3級

04 令和8年度予算・組織定員要求の主な内容（3／6）

3. 働きやすさと成長が両立し、自分らしく挑戦できる公務（2／3）

■ 主体的な学びと成長の支援

- ・職員が自律的・主体的かつ継続的な学び・学び直しを行うことができる環境を整備
- ・予算については、キャリア支援及びオンボーディング支援ガイドに基づく動画コンテンツの作成、課長級短期海外大学院派遣研修（リーダー養成）の拡大を要求
- ・定員については、国家公務員に求められる能力、公務で獲得できる能力の言語化を踏まえた研修体系見直しのための体制を要求

予算

支援ガイドに基づく動画コンテンツの作成

10,120千円

予算

課長級短期海外大学院派遣研修（リーダー養成）

9,064千円

定員

人材局 研修推進課 研修開発官 5級

■ 人事管理のデジタル化

- ・人事管理における事務手続全体の電子化や府省等共通システムの構築、各種システム間の連携を通じたデジタル化を推進
- ・予算については、国家公務員災害補償におけるマイナンバー情報連携を活用したシステム化の実現可能性に関する調査研究を要求
- ・定員については、制度、業務、システムの3つを一体として改革推進する体制を要求

予算

34,188千円

※Microsoft 365 Copilotのライセンス費用（8,489千円）、SEDO内においてAIを用いた回答案及びFAQ作成支援機能の改修（27,621千円）は、デジタル庁から要求する政府情報システム予算で要求

定員

政策立案参事官G 人事管理高度化専門官 5級（課長補佐）・3級（係長） ※いずれも別枠

04 令和8年度予算・組織定員要求の主な内容（4／6）

3. 働きやすさと成長が両立し、自分らしく挑戦できる公務（3／3）

■ 不服・苦情等への対応の充実

- ・公平審査制度や苦情相談について、近年の傾向や関連制度の動向の把握・分析を進め、迅速性や実効性を高める方策について検討
- ・予算については、職員のトラブル・不満を解決するための公平審査・苦情相談制度等の見直しのための調査研究を要求
- ・定員については、公平審査制度、苦情相談制度の見直しに向けた企画・調査研究のための体制を要求

予算

22,906千円

定員

公平審査局 調整課 公平審査制度企画室長 7級（振替）

公平審査局 調整課 公平審査制度企画室

公平審査調査官 5級

公平審査調査専門官 3級（振替）

公平審査調査官 5級（※時限）

公平審査調査専門官 3級（※時限）

公平審査支援官 5級

04 令和8年度予算・組織定員要求の主な内容（5／6）

4. 未来を創る高い志を持つすべての人が挑戦できる公務

■ C B T方式の導入を始めとした採用試験の抜本的な見直し

- ・令和9年度の経験者採用試験の基礎能力試験へのC B T（Computer Based Testing）方式の導入に向けた準備のため、令和8年度に模擬受験者を対象とする試行試験の実施等を行うための経費を要求

予算 39,742千円

■ 中途採用者選考試験（就職氷河期世代）の円滑な実施

- ・「新たな就職氷河期世代等支援プログラムの基本的な枠組み」（令和7年6月3日就職氷河期世代等支援に関する関係閣僚会議決定）等による中途採用者選考試験（就職氷河期世代）の実施のための経費、体制を要求

予算 13,050千円

定員 人材局 試験課 試験監理専門官（中途採用者選考試験担当）3級（※時限）

5. 人事院庁舎の業務基盤維持

■ 国家公務員の研修環境の適切な管理（公務員研修所）

予算

58,267千円

04 令和8年度予算・組織定員要求の主な内容（6／6）

6. 人事院の組織体制の強化等

■ 官房機能の強化、組織戦略の統括等に向けた体制整備

定員

総合政策課長 10級（振替）

総合政策課 政策調整室長 8級（振替）

総合政策課 政策調整官 5級（課長補佐）・3級（係長）

総務課 総務専門官 3級（振替）

総務課 広報室 広報戦略官 7級（振替）

総務課 公文書監理室長 7級（振替）

■ 試験制度全体の在り方の見直しを推進するための体制整備（※いずれも振替）

定員

人材局 企画課 制度第一班 6級（課長補佐）・5級（専門官）・3級（主査）

人材局 企画課 制度第二班 6級（課長補佐）・5級（専門官）・3級（主査）

人材局 企画課 任用審査班 6級（課長補佐）・3級（主査）

人材局 企画課 企画調整専門官 6級×2・5級

人材局 企画課 人材情報管理官 6級・5級、人材情報運用官 6級・5級

■ 調査票情報の二次利用の推進

定員

給与局 給与第一課 統計利活用推進官 5級（※時限）